

お知らせ

対話 発見 授業のようす 決定 表現

重要

思春期は、心身ともに大きく成長する時期だからこそ、悩みをもつことがあります。悩みを抱えてしまつて困っているときに、相談できる相談窓口はたくさんありますので、「不安や悩みがあるとき」は、「一人で悩まず、相談しよう」「相談するとうきよなるの?」「保護者向け相談窓口一覽」と「TO KYOの?」とメッセージチャンネルを紹介しませうので、活用してください。下の二次元コードから、またはURLをクリックすることでアクセスできます。



★四月三十日の一年生の社会(芥切教諭)の授業では、『緯度と経度』の理解を深めるための工夫のある授業で、生徒たちは大変盛り上がりました。経度と緯度が示され、その地点を地図帳から探し当てます。少人数グループで見出し合いながら(対話と表現)、作業をしました。世界地図のような大きな地図では発見しづらいので、小さい地域の地図を活用することを発見したり、地理の学習には算数の知識が必要であることを発見したり、地理の学習には算数に関する生徒の関心はさらに深まっています。答えを決定する場面では、その答えが本当に正しいのか、さらに活発な対話を行いました。



活躍する八中生

〔敬称略〕

- ★チアダンス★
アメリカ オーランドで実施
世界大会THE DANCE SUMMIT
2026ゴールドチャンピオン
渡邊 心(一年)
- (調布Mrettes
JADE Rivers Pop 所属)
- ★空手道★
東京都中学生空手道選手権大会
女子個人組手
五位 森田 巡(二年)
- ★図書委員会★
あなたの気になる文はどれ?
『一文キャンペーン』実施中
(本校舎北階段踊り場)



<https://www.fuchu-tokyo.ed.jp/fuchu08c/02gaiyou/15108533456459d8e4a01a420230509142348.html>

<https://ijime.metro.tokyo.lg.jp/message/>

事故に遭わない・起こさない

水の事故に注意! 事故に遭わない・起こさないという気持ちを持ち続けよう!

参考資料：公益財団法人 河川財団「水辺の安全ハンドブック」

◆次の事例を読んで考えましょう◆
中学生のAさんは、毎年夏休みに川遊びをします。生き物が好きなAさんにとっては、魚や虫などたくさん生き物がある川はとても魅力的な場所です。絵のように、今年も川遊びを楽しんでいました。しばらくすると、水かさが増え、流れの速さは、あまり変わらないうのですが水がだんだんと濁ってきました。同時に、足に感じる水の勢いが強くなってきたように感じました。

【考えましょう】

- ①水が濁ってきた理由を考えよう。
- ②足に感じる水の勢いが強くなってきたのはなぜですか。
- ③あなたがAさんだったら、この後、どのような行動を起こしますか。理由も合わせて答えましょう。

水に関わる子供の事故の約6割は川や湖で起こっています。ひとたび水辺の事故に遭遇すると、こうした楽しさはすべて奪われてしまいます。川や水辺、プールなど、水にひそむさまざまな危険性を知っておくことが大切です。子供だけで、川や水辺で活動することがないようにしましょう。

夏が近づき、プールや海などの水辺で活動することが多くなってきました。いろいろな体験をする絶好のチャンスですが、常に「事故に遭わない、事故を起こさない」この気持ちを持ち続けることが大切です。万が一、危険な場面に遭遇したり、少しでも危険であると感じたりしたときは、躊躇(ちゅうちよ)せず危険な場所から速やかに離れ、すぐに、大人に報告しましょう。

【考えましょう】の答えは次号に掲載します。

